

第 1 回札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会【概要版】

【開催日時】平成 22 年 3 月 24 日（水）14：00～16：00

【開催場所】恵庭市役所 3 階 第 2・3 委員会室

【出席者】

〔委員〕泉谷清、内田信一、鏡貢、川向康文、木内克昌、竹内栄、丹伊田哲也
藤本治聖、掛水美枝子、喜多昌幸、永井晋二、久村隆一、平野哲雄

〔市側〕原田裕（市長）

〔ワザハシ〕浜中孝一（北海道札幌土木現業所千歳出張所次長）

佐伯伸基（" 道路係長）

大坪順一（" 道路係主任）

事務局 寺崎博裕（企画財政部長）

黒牧智器（都市計画課長）

岩田雅浩（同主査）、大嶋克幸（同主査）

〔傍聴者〕2 名

【会議概要】

1. 開 会 （司会）都市計画課長

2. 委嘱状交付 原田市長より委員へ委嘱状を交付
（続いて委嘱委員自己紹介）

3. 挨拶 原田市長

4. 役員互選 委員長：泉谷清氏、副委員長：喜多昌幸氏

5. 議 事

（1）札幌恵庭自転車道線整備事業について

（2）検討事項の確認について

（3）質疑・意見交換

6. その他

7. 閉 会

意見分類	意見要旨
整備方針	・ランニングと自転車が共存して利用できると良い ・自転車道の整備テーマが不明確 ・通勤・通学の利用となるのか ・森の中を抜けて、水辺を使うイメージがある ・住宅街を走るイメージでない ・自動車を気にしないで走れる自転車道が良い ・歩行者も安心して利用できる生活道路としたほうが利用者も増える ・自転車は早く走りたいが、歩く人はそうではない。北広島でも危ないと思う事があった ・人を気にしないで走れて、街や信号のない郊外を通ると良い ・恵庭は花の街なので、それをアピールできる道が良いと思う ・サクラなどの木を植えて名物となる道が良い ・子供たちが「花と水と緑」の恵庭らしさを再発見できる道になると良い、その事が自分のまちに誇りをもてる ・北海道らしさ、恵庭らしさが感じられる道が良い ・恵庭でキャンプする事を想定して、自転車道を考えてはどうか ・札幌のようにバスレーンを走ろうではつまらない ・バスツアーを企画しているが、参加者は非日常を求めている ・自分のために歩きたいので、（自転車から）邪魔にされたくない。人の利用を大切にしたい ・自転車専用道としたほうが安全だ ・北広島のルートは参考になる ・これから高齢化社会を迎えるので、そのことも考えると良い ・漁川の生態は子供たちの教材である ・子どもがヘルメットをかぶっていない ～ 小学校では今後指導していく予定 ・エコなど啓蒙活動を行い、まちづくりのきっかけになればと思う ・自転車の種類や速度を制限してはどうか
整備の姿	・漁川はゴムチップ舗装をしているが、維持管理が難しいと聞いている ・人と自転車が分離する構造ができると良い ・カラー舗装だけではつまらない

意見分類	意見要旨
ルート	・他の施策で活用しているランニングルートなどを重複させて活用してはどうか ・道道江別恵庭線島松川橋梁から恵庭駅までは決定か ～ 決定である ・札幌市から利用される事も加味して検討すべきである。線形も直線だけではなく曲線も取り入れ、四季感があると利用も高まる ・恵庭の場合鉄道の右側・左側で大きく景観も異なる ・島松、恵み野、恵庭を結ぶ生活の利用もある道が良い ・恵庭駅が終点であれば単独のサイクリングロードは難しい ・漁川を使うと街中に入っていける ・既存施設や歴史的施設を結ぶルートも良いし、将来計画のある西島松北地区との連携も視野に入れるべきではないか ・恵庭工区の延長は何kmか ～ 約11km ・恵庭らしさで感じるのは、恵庭岳、不風死岳、樽前山が眺められる所をルートに入れたい（ビューポイント） ・恵庭駅から出発できるのは良いと思う ・全てを網羅するのは難しいので、メインルートとサブルートがあっても良いのではないか ・自転車版のアウトバーンがあっても良いのかもしれない ・仁別、アシリベツを繋ぐルートもあってはどうか ・漁川と道と川の駅はルートとして外せない ・柏木町を通過、盤尻に抜けるルートがよい ・北広島では江別恵庭線を通していないので、恵庭もそうしたい
委員会の進め方	・委員会で決定した事が100%実現するのか ～ 道や国との協議の中で、変更を余儀なくされるものもあるかと思う。現実的に整備困難なものについては、委員会の中で発言していく ・ワークショップ形式だと更に議論がしやすい ・バスで現地を見た後だと、話がはずむのではないか
委員会への要望	・ある程度方向性を示した資料を提示してほしい ～ 事務局案の提示ではなく、意見を出し合いながら、構築していく ・人と自転車が混在している事例やスピードが出せている事例など、提示してほしい ・財政的に無理があってはいけない